

## 2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		交通安全対策事業					
事業の概要		<p>本町では、町立保育所・幼稚園においてそれぞれ年数回ずつ交通教室を実施しているが、これらは主に園内で行われるため、その実施に際し実際の道路状況を模したものが必要となってくる。本事業により、現実の道路に近い状況が再現でき、その学習効果を高めるものである。</p> <p>&lt; 内容 &gt; 交通安全教室用信号機一式購入</p>					
		事業期間	平成19年度				
		総事業費	488	本年度事業費	488	交付金交付額	244
事業 評 価	事業の必要性	悲惨な交通事故が相次ぐなか、交通安全意識の高まりとその浸透が社会的な要請となっている。社会全体で交通安全への意識を醸成していくためには、幼少期からの交通安全教育が不可欠である。					
	事業の有効性	交通ルールの習得は実際の道路で行うのが最も効果的だと思われるが、それには危険が伴い、さらに幼児を対象としていることもあって、より安全性の高い手法が望まれる。本事業により、実際に信号機を確認しながら園内(屋内)での交通教室が可能になるものである。					
	事業の効率性	実際に信号機を確認しながらの交通ルール習得が可能になることで、より学習効果の高い交通教室となる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
		4 広域的波及成果					
5 行財政改革に資する成果							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。